

# とちぎ夢大地応援団活動報告（令和元年12月7日実施）

## 塩谷町 田所中地区

### 「イノシシ・シカ等獣害防止柵設置作業」

塩谷町田所中地区で、「とちぎ夢大地応援団」活動を行いました。農村地域の環境保全に関心のあるボランティア（＝とちぎ夢大地応援団）と、地元の人たちが力を合わせて、同地区山林に獣害防止用の柵を設置しました。

活動には約50人が参加。激しい冷え込みの中、7班に分かれて午前9時過ぎから作業を開始しました。柵の設置予定の全長3.8kmのうち、この日は約2.1kmの柵作りを行いました。昼食を挟み、午後2時半ごろまで、作業を行いました。

ボランティアとしては、カルビー、大和ハウス工業、栃木明治牛乳の3社の社員有志の他、ボランティア団体「ナルク」のメンバーが参加しました。土中に鉄筋を打ち込み、イノシシ、シカの侵入を防ぐメッシュ状の防護柵をくくりつけました。

栃木明治牛乳の社員は今回が3回目の柵作り活動で、2回目の参加となった方は「普段はできない体験なので新鮮。自分の身近には獣の被害はないが、作業を通して中山間地域の人たちの苦勞が分かった」と感想をいただきました。

同地区では主に稲がイノシシの被害を受けているそうで、田所中地区獣害対策委員会の会長で地元猟友会の会員でもある高橋さんは「駆除もしているが、とても追いつかない。ボランティアの人たちに手伝ってもらうことで作業が早く進み大変有り難い」と感謝の言葉をいただきました。



▲参加した皆さんで記念撮影を行いました。大変冷え込みが激しい中お疲れ様でした。



はじめに、田所中地区獣害対策委員長高橋さんより、ご挨拶をいただきました。「寒い中、大変申し訳ないが、皆さんのおかげで、この里山が守られる。地区民一同体験感謝している。体に気を付けて作業を行って欲しい。また、地区で収穫した「とちぎの星」でご飯を炊いている。お昼時間も里山を堪能してほしい。」とエールをいただきました。



猟友会田中先生より、獣害防止柵設置のレクチャーがありました。柵の向きや、ハッカーの使い方、番線巻きの諸注意など、多岐に渡りました。



作業の様子になります。全体を7班（班/6、7名程度）に分け、それぞれ猟友会の先生が1名付き、指導を行いました。はじめは不慣れな方もいましたが、次第に作業に慣れ、サクサクと作業が進みました。比較的土地も平らな箇所が多く、土壌も柔らかかったために、どんどん柵が設置されていきました。



昼食の様子になります。献立は、具がいっぱいに入った手作りのカレーライスと豚汁でした。また、栃木明治牛乳から牛乳の差し入れもあり、なごやかに食と会話が弾みます。冷えたからだに暖かいご飯は大変美味しかったです。